

令和5年度 経営発達支援計画

事業実施報告書

評価集約版

太子町商工会

事業の評価及び見直しをするための仕組み（計画書 13P）

経営発達支援事業の円滑かつ効果的な実施に向けた取組として、行政や外部有識者による事業評価委員会を設置し、年1回事業の成果、評価及び見直しを行うとともに、その結果を商工会理事会へ報告する。これらを踏まえたうえで、次年度事業計画を立案する。また、事業の成果・見直しの結果については、商工会のホームページにより公表する。上記のとおりPDCAしながら太子町商工会の経営発達支援事業の効果的な実施を図る。

事業評価委員会

区分	所属	役職	氏名
委員	中小企業診断士		荒木 慎吾
	太子町産業経済課	課長	三木 隆史
	日本政策金融公庫姫路支店	支店長	佐藤 文昭
	太子町商工会	事務局長	細川 雅弘
事務局	太子町商工会	課長	玉越 博充
		主査	小河 瞳
		主任	山田 厚治

【評価方法について】

- ・評価欄は、評価の目安を参考にして5段階で評価してください
- ・コメント欄は、【目標及び実績】を参考に、簡潔にコメントしてください
- ・忌憚のないご意見をお聞かせくださいますよう宜しくお願い致します。

【評価の目安】

A：達成率 90～100% B：達成率 70～89% C：達成率 40～69%
D：達成率 1～39% E：達成率 0%

記載例

評価	コメント
B	ほぼ、目標どおりの実績であり、しっかり取り組んでいる。 経営革新の計画策定については、物足りない。 事業承継の問題を抱えている事業所も多く、もっと件数を増やす必要がある。

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること（計画書 5～6P）

【実施した事業内容】 参考資料 1～4

中小企業景況調査（地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに実態等諸情報を迅速・的確に収集・提供し、経営改善普及事業の効果的な実施に資するもの）を、異なる業種で7事業所を対象に四半期ごとに実施した。また、4業種（サービス業・製造業・商業・建設業）でも12事業所を対象に四半期ごとに実施し、それぞれ分析を行った。

また、独自で管内小規模事業者に1職員月5件の景況調査を実施し、収集したデータを独自様式に整理・分析した結果を毎月の職員会議でフィードバックを行った。

調査対象期間：①②1～3月期、4～6月期、7～9月期、10～12月期／年4回
③4～6月期、7～9月期、10～12月期、1～3月期／年4回
（1～3月期は3月に実施予定）

調査方法：①全国商工会連合会小規模景気動向調査
②西播磨県民局地域経済動向調査
③太子町商工会職員による会員への調査

【補足説明】

現状のHPでは、経済動向調査を掲載するページがないため、掲載できなかった。次年度は、現HPを大幅に刷新する予定でありページを追加する等の改善を図る。

【令和5年度目標及び実績】

項目	目標	実績
①②業種別景況動向調査件数	76件	76件
③商工会独自の分析数	100件	91件
④動向・景気動向分析結果の情報発信（商工会HP）	4回	0回

【評価・コメント】

評価	コメント
B	情報発信は昨年度も実績ゼロだが、次年度はホームページをリニューアルされるとのことである為、今後に期待したい。また、商工会独自の分析数が昨年の381件から大幅に減少した理由は、評価委員会で確認したい。

B	○概ね目標どおりの実績である。 ○調査結果の公表、情報発信については早急に改善してもらいたい。
B	概ね当初の目標を達成できている。西播磨の経済動向では把握しきれない要素は会員への聞き取りでフォローできているが、会員へのフィードバックのための情報発信を効果的にできるよう取り組まれない。

2. 需要動向調査に関すること（計画書 6～7P）

【実施した事業内容】

町内の事業者やお店を知ってもらう取組として「太子町スタンプラリー」を実施した。同事業には、81 事業者が参加、スタンプラリーには 902 人の応募があった。当選者 100 名の方に需要動向調査（アンケート）を実施し、83 人の回答があった。

①太子町スタンプラリー事業概要

実施期間：令和 5 年 10 月 1 日～11 月 30 日

参加事業者：81 者（うち需要動向調査事業者 59 者）

スタンプラリー応募：902 人

参加店を周遊していただき 1 店舗につき 1 個スタンプを押印又はデジタルスタンプを取得し、5 店舗で 5 個スタンプを集めれば応募でき、抽選で 100 名に賞品（商品券 3,000 円分）が当たる企画。

【補足説明】

令和 4 年度は太子町や太子町観光協会と連携して行う太子あすかふるさとまつり内の「太子町物産展」において、出展する商工会員及び来場者に対し県立太子高校の協力を得て需要動向調査を行ったが、令和 5 年度は調査人員を確保できなかったことから需要動向調査を行うことが出来なかった。

【令和 5 年度目標及び実績】

項 目	4 年度実績	5 年度目標	5 年度実績
①需要動向アンケート調査 （事業者）	66 者	20 者	59 者
②需要動向アンケート調査 （町民・来町者）	432 件	100 件	83 者

【評価・コメント】

評価	コメント
B	調査人員の確保については、次年度どのような対策を講じるかを確認したい。一方、太子町商工会は職員数が少ないにも拘らず、多くの会員事業所をカバーされており、職員の負担軽減の為にイベント等については、実施の可否・スクラップ&ビルドを含めて検討されても良いのでは、と思いました。
B	○概ね目標どおりの実績である。 ○次年度については、調査人員を確保し是非需要動向調査を実施してもらいたい。
B	概ね当初の目標を達成できている。多くの会員の賛同を受け、デジタル式を併用したスタンプラリーにより積極的な意向調査が実施できた。町民向けの動向調査は実施形態を再検討し、より有効なものとなるよう努められたい。

3. 経営状況の分析に関すること（計画書7～9P）

【実施した事業内容】 **参考資料5**

①事業計画策定セミナー

名称：経営計画作成セミナー
 日時：令和5年9月27日（水）19：00～21：00
 場所：太子町商工会館2階大会議室
 参加者：8名
 講師：中小企業診断士 藤尾 政明 氏

上記①では、経営計画の必要性を学び、小規模事業者持続化補助金の経営計画書をもとに、SWOT分析、収益性分析、市場動向、顧客ニーズ等の分析手法について説明を行った。加えて、経営計画書作成にあたってのコンセプトや商品・サービス、提供方法等についても指導を行った。

②創業セミナーの開催

名称：たいし創業塾
 日時：令和5年7月1日（土）10：00～18：30
 令和5年7月8日（土）10：00～17：00
 令和5年7月15日（土）10：00～17：00
 令和5年7月22日（土）9：30～18：00

場所：太子町商工会館 2 階大会議室

参加者：13 名

講師：税理士 向山 信康 氏

税理士 若槻 とも子 氏

税理士 川淵 佳子 氏

社会保険労務士 高橋 和子 氏

創業セミナーでは、ビジネスプランの策定を通して、以下の分析項目について講師より説明を行った。

1. 商品・サービス
2. 対象顧客
3. 市場ニーズ/今後の成長性
4. 競合他社に対する優位性
5. 資金計画
6. 利益計画

③中小企業診断士による個別相談の開催

主に新型コロナウイルス脱却後の事業環境の変化への対応や起業等、新たな取り組みのために必要な経営分析を行った。分析結果は、小規模事業者持続化補助金や中小企業新事業展開応援事業、起業家支援助成金等の事業計画の作成に活用した。強み・弱み・機会・脅威といった自社内外で置かれている環境等を客観的に分析する手法や収益性分析を行い、3年程度の財務計画の立案の手法も支援した。

開催日：令和5年4月4日～令和6年2月20日（3月に+2回実施予定）

月2回 計22回開催（年度内24回開催予定）

講師：中小企業診断士 荒木 慎吾 氏

参加人数：23 者

セミナーに加えて経営課題を抽出し、課題解決のためのアクションプランを明確にして事業展開ができるように計画策定を支援した。特に経営計画の策定に積極的な小規模事業者を対象に巡回・窓口相談を行い、専門家のアドバイスを受けながら事業計画の策定支援を行った。事業計画を策定することにより、小規模事業者は経営目標が明確になり、商品・サービスを効果的に展開することができた。

具体的には小規模事業者持続化補助金申請支援時に11件、ものづくり補助事業2件、中小企業新事業展開応援事業支援時に2件、起業家支援助成金支援時に4件、西播磨ビジネスプランコンテストに1件、経営相談に2件、創業相談に1件の合計23件を個別相談時に実施した。

また、セミナー参加者では事業計画策定セミナーおよび創業セミナー開催時で21件、合計44件の経営分析を行った。

支援内容	4年度実績	5年度目標	5年度実績
①セミナー開催件数	3回	3回	3回
②セミナー参加者の経営分析事業者数	22者	15者	21者
③個別相談での経営分析事業者数	33者	15者	23者
④合計分析事業者数(②+③)	55者	30者	44者

【評価・コメント】

評価	コメント
A	全ての項目で目標を達成されており、A評価とした。事業計画作成セミナーと創業セミナーについて、他の専門家への依頼を検討したい場合は、ご紹介致します。また、創業セミナーの開催時間が6時間と長い為、申込時の心理的なハードルになっている可能性はある。開催時間の件は、昨年の評価委員会でも同じコメントをさせて頂いた。
A	○目標どおりの実績である。しっかり取り組んでいる。
A	創業塾等セミナーの開催回数や参加者数等、当初の目標を達成できている。個別相談により会員に寄り添った対応ができており、的確な経営分析を通じた支援ができています。

4. 事業計画策定支援に関すること（計画書9～11P）

【実施した事業内容】 参考資料6

①事業計画策定セミナーの開催

開催概要は、2. 経営状況の分析に関することの①と同じ。

②創業セミナーの開催

2. 経営状況の分析に関することの②に記載の内容に加え、Google ビジネスプロフィールや SNS の利活用方法、労働保険・社会保険、採用にあたっての心構えや注意点、参加者の思考のクセや行動や考え方、物事を受取り方、得意・不得意を診断するテストや事業全体を把握し、その正しさを数値で確認するプロセスを疑似体験するビジネスシミュレーションゲームでセミナー参加者に対して起業にあたり必要なノウハウ等を指導した。

③DXセミナー

名称：Google ビジネスプロフィールを使った集客セミナー

日時：令和5年10月11日（水）19：00～21：00

場所：太子町商工会館2階大会議室

参加者：21名

講師：コムサポートオフィス 代表 今井 ひろこ 氏

モバイルユーザーの多くが活用し新規顧客獲得において有効なツールである Google ビジネスプロフィールの登録や管理の仕方、活用方法を学び、自社の情報を適切に発信できているかを分析した。また、お客様への効果的なアプローチ手法として投稿する際のポイントや口コミ返信におけるコツ等について説明を行い、自社の投稿や返信が「未来のお客様」を意識したものになっているのかワーク形式も実施し支援を図った。さらに、令和5年10月から施行されたステマ規制法についても説明し、違反等した場合には懲役・罰金が科されることを注意喚起した。

	4年度実績	5年度目標	5年度実績
①補助金活用セミナー	1回	—	—
参加事業者数	11者	—	—
事業計画策定者数	8者	—	—
②事業計画策定セミナー	1回	1回	1回
参加事業者数	8者	10者	8者
事業計画策定者数	5者	5者	5者
③創業セミナー	1回	1回	1回
参加事業者数	11者	10者	13者
事業計画策定者数	9者	5者	7者
④DXセミナー	1回	1回	1回
参加事業者数	19者	10者	21者
事業計画策定者数	3者	3者	3者
⑤セミナー受講者による事業計画策定者数（①+②+③+④）	25者	13者	15者
⑥個別相談による事業計画策定者数	33者	13者	23者
⑦事業計画策定者数（⑤+⑥）	58者	26者	48者

【評価・コメント】

評価	コメント
A	殆どの項目で目標を達成されており、A評価とした。個別相談の案件発掘に尽力されている様子も、十分に理解出来る。
A	○目標を上回る実績である。 ○次年度についても積極的に実施してもらいたい。
B	概ね当初の目標を達成できている。各種セミナーの開催により社会情勢の変化に対応した支援ができているが、補助金活用の促進については町も連携する用意があるので、協議をお願いしたい。

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること（計画書 11P）

【実施した事業内容】

令和5年度に策定した事業計画48件及び過年度に策定した事業計画に対し、策定支援にかかわった職員が延べ178回訪問（令和6年2月21日時点）。計画の進捗状況やその後の課題等の把握を行った。

【目標及び実績】

	5年度目標	5年度実績
フォローアップ対象事業者数	26者	78者
頻度（延べ回数）	78回	215回
売上10%以上増加事業者数	3者	9者
営業利益率5%以上増加事業者数	3者	7者

【評価・コメント】

評価	コメント
A	全ての項目で目標を達成されており、A評価とした。
A	○目標を大きく上回る実績である。 ○次年度についても引き続きの活動をお願いしたい。
A	当初の目標を達成できている。積極的に訪問することで目標を大きく上回る実績を挙げている。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること（計画書 12～13P）

【実施した事業内容】 参考資料 7

物産展等の開催情報を商工会報等で発信し、速やかに情報提供するとともに、催しの内容により事業所を選定し、個別に情報の提供を行った。また、1月開催の FOOD STYLE Kansai2024 への出展にあたり 1 事業者の支援を行った。出展者には、出展に向けて専門家個別相談を実施するとともに、出展に係る資料や準備および当日も職員が同行して支援を行った。

また販路開拓に繋げる IT アドバイザー等の専門家派遣についても実施した。

【情報提供により出展に至った展示会】

(1) 主に BtoB の販路拡大において想定される展示会等

① 国際フロンティア産業メッセ／国際フロンティア産業メッセ2023実行委員会

開催日：令和5年9月7日（木）・8日（金）

参加者：会員事業所 2 社

② FOOD STYLE Kansai2024／FOOD STYLE Kansai 実行委員会

開催日：令和6年1月24日（水）・25日（木）

参加者：会員事業所 1 社

【目標及び実績】

	5 年度目標	5 年度実績
①国際フロンティア産業メッセ等 (BtoB)	2 者	3 者
商談成約数	1 者	7 者
②SNS 活用事業者	7 者	15 者
売上増加率/者	10%	10%
③EC サイト利用事業者数	5 者	3 者
売上増加率/者	10%	10%

【評価・コメント】

評価	コメント
A	国際フロンティア産業メッセは、商談成約件数において、昨年よりも顕著な実績が確認できる。一方、「SNS活用事業者」「ECサイト利用事業者数」が、どのような事業者を指すのかについて、確認したい。
A	〇目標どおりの実績である。
B	概ね当初の目標を達成できている。出展者への支援により取引先数や売上増につながった。

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み

1. 経営指導員等の資質向上に関すること

【実施した事業内容】

(1) 研修による資質向上

- ① 兵庫県商工会連合会が実施する研修の受講 6名
- ② 全国連が実施するWEB研修（eラーニング）の受講 5名

(2) OJTによる資質向上

- ① 創業支援等において、経営指導員が経営支援経験の浅い経営支援員等に対して円滑に支援が進むよう助言するとともに、必要に応じてペアで支援にあたる等、OJTを通して経営指導員の支援ノウハウを継承していくことに努めた。次年度も、より高度な補助金の事業計画策定等を通して、OJTによる資質向上に努め、一層の経営支援業務の拡充を図る。

(3) 職員間の定期的なミーティングの開催

- ① 原則月1回のミーティングを開催し、小規模事業施策の説明や各担当の支援状況の進捗等、情報共有を図った。
令和4年度 12回
令和5年度 11回(令和6年2月末時点)

(4) 小規模事業者支援システムの活用によるデータベース化

- ① 小規模事業者支援システムに支援内容の概要を入力し、職員間で共有を図った。これにより職員間なら誰でも会員事業所の支援状況にアクセスできるようになった。そのため、担当外の職員や人事異動等で担当が変わる際にも、引継ぎ等の簡略化が図れるようになった。

【評価・コメント】

評価	コメント
A	コミュニケーションの面においては、部下の報告を徹底することや上司側も指導力を強化することは、どのような職場でも必要なことであり、今後に期待したいと思います。
A	〇会員サービス向上のため引き続きの努力をお願いしたい。
B	概ね当初の目標を達成できている。出展者への支援により取引先数や売上増につながった。人事異動により当町の事情に明るくない次担当にでも円滑に引き継げる組織的な取り組みがされている。

【総括評価・コメント】

令和5年度の事業を総括して評価してください。

総括評価	コメント
A	大半の項目について目標を達成されており、他の商工会の模範となる取組みであることを、大いに評価した。特に「営業利益率5%以上増加事業者数」「商談成約数」については、出席した委員から高い評価を得ていた。会員事業所数が多いにも拘らず、少ない職員数でカバーされている点も、十分に考慮した。次年度は、太子町役場独自の支援制度（早期経営改善計画策定促進補助金など）について、周知・利用促進に取り組んで頂きたい。